

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度3案件署名式報告

令和2年12月1日、当館にて令和2年度3案件の合同署名式が行われました。署名式では下記3件の案件が新たに締結され、現在までのタジキスタン国内における草の根・人間の安全保障無償資金協力支援案件数は計419件となりました。

- ・ ドウシャンベ市第3中央クリニック X 線透視撮影システム整備計画
- ・ ドウシャンベ市第7中央クリニック X 線透視撮影システム整備計画
- ・ ヴァフダト市中央病院内視鏡システム及び超音波診断装置整備計画

式中、宮下大使は「タジキスタンでも COVID19 は未だ終息せず、病院の負担も増加している。健康は人々の幸福にとって基礎的なものである。今回、これらの医療機材を供与することで各病院の治療の効率化に貢献できることを嬉しく思う」と述べました。

被供与団体の代表者からは、日本政府の支援に感謝するとともに、今後責任を持って案件実施に取り組むとの発言がありました。



式冒頭、式辞を述べる宮下大使。



贈与契約書に署名を行う様子。



署名後にはプロジェクトの成功が約束されました。



式終了後の記念撮影。